

北見民報

NO 1082
15. 7. 12

発行
北見民報社
北見市幸町1-1
Tel. 25-5121
FAX. 61-7478

ストップ戦争法案！北見集会に二二〇人

「戦争法反対の声を北見でも大きく上げよう！」と、三日夕方、北見革新懇と北見労連の共催で「ストップ戦争法案！北見集会」が行われ、二二〇人が参加しました。

集会では主催者を代表し

「森田克己北見労連議長が「憲法違反の戦争を廃案に追い込むまで声と運動を広げましょう」とよびかけました。

日本共産党の菊池豪一北見地区委員長が情勢報告を行った後、参加者からの発

言が行われました。

高教組の代表は「自衛隊に入った教え子が『余裕で人殺しができる』と言字野を聞いて驚いた」、新婦人の代表は「戦時下ではどんなに優しい人でも変わってしまう。若い人たちにそういう思いをさせたくない」と述べました。

憲法を守る運動をしている「憲法九条を広げる北見の会」の金子泰憲さん、



戦争させない！ 憲法壊すな！

体幹を強くして筋肉をつけなさい

朝から筋肉質の男性が中年を相手に指導している



番組、「ストレッチを行って、老化に強い体をつくる」という番組の趣旨なのかと見ていると、「ダイエット」がテーマでした。

あんまり自分とは縁がなかなあと思っていたら、横から「ほらね、少しくらい体重が増えなくても、筋肉がないと老化は早いって言ってるよ」。

運動不足！と罵声を浴びせられるだけではと、「筋肉つけばいいんでしょ！」

と種類のストレッチに挑戦！「うつ伏せで、肩甲骨を合わせるように・・・これできた」。次はスクワット！「・・・やばいです、足が震えて来ました」。

再び横から「筋肉ないね！大変だよ。少しやる気出したら！」と容赦ありません。事務所に来て足が痛く、背中が妙に痛い！早くも後遺症が発生。見返さなくては・・・！！

「北見から憲法を考える会」の佐藤毅さんもかけつけ、金子さんが連帯のあいさつを行いました。

集会終了後、参加者は「戦争させない」「憲法壊すな」とラップ調のコール

を行いながら、市内をデモ行進しました。

歩道から一緒にコールする市民もいました。また、学校帰りの高校生が盛んに手を振ってくれました。

とされているTPA法案が成立するなど、極めて緊迫した局面が続いている」として、別掲の二項目について要請しています。

要望書の提出にあたって連絡会議の櫻田真人会長（北見市長）は林大臣に「国会決議を堅持して、慎重かつ、適切な対応をお願いしたい」と要請しました。

TPP交渉で国会決議の堅持を

オホーツク連絡会議が林農水相に要請

TPP問題を考えるオホーツク連絡会議（オホーツク圏活性化期成会、農協組合

四日、来北した林芳正農林水産大臣に、TPP交渉の

林農林水産大臣に対する要請事項

- ①農林水産物の重要品目について、衆参両院の農林水産委員会における国会決議を堅持し、食の安全、医療、公共事業など国民へ不利益が生じる場合には、交渉から撤退するなど適切な対応をとること。
- ②TPP交渉に関する情報を国会及び国民に開示するとともに、十分な国民議論を行うこと。

国会決議の堅持を求める要請書を提出しました。

要請書では、米国議会でのTPP交渉の妥結のがきを握

は「主要作物であるてん菜などの輸入が緩和されると輸作体系が崩れ、作付けのバランスが保てなくなり、地域が成り立たなくなる」と訴えました。

林大臣は「国会決議を守ったと評価されるよう期限をめぐり、交渉をやりぬきたい」と答えました。

住民投票条例制定へ

市政の重要事項で市民の意思を問う

北見市住民投票条例の設置が六月二十五日、市議会の総務教育常任委員会にて可決されました。

合併後の二〇一〇年にまちづくり基本条例が制定され、その中で住民投票

票制度が位置づけられ、その後市内での論点整理、条例検討市民会議の議論を経て、今年の第一回定例会に条例案が提案され、付託を受けた総務教育常任委員会が審議が継続

はあらかじめ投票の対象は今回可決された条例案上の上の署名が必要

れてきました。

戦争法許すな！参院選躍進へ力合わせよう 15年青空まつりに180人



日本共産党北見市後援会の「2015年青空まつり」が5日、市内の常盤公園を会場に行われ、180人が参加しました。

グズついた天気が続いていましたが、当日は朝から気持ちのいい青空が広がり、参加者の出足も早く、開会の1時間前から来場する方も。

まつりでは、渡部俊雄北見市後援会長、菊池豪一共産党北見地区委員長のあいさつに続き、畠山和也衆議院議員が国会報告とあいさつを行いました。

畠山さんは、「日本共産党の国会論戦と国民のたたかひの広がり、安倍政権を追い込んでいる」「地域での1筆、2筆の署名でも全国で集めれば大きな力になる。必ず法案を阻止しよう」と述べ、参加者から大きな拍手が起こりました。

その後、参加者はジンギスカン、焼き鳥、ホルモンに舌鼓をうちながら交流を深めました。

採れたての新鮮野菜や衣料品、梅干やせんべい、かつお節、コーヒーに「どら巻き」など各後援会の出店も並び、参加者の笑顔があふれるまつりとなりました。



事項や発議方法などを定め、要件を満たした時いつでも投票できる常設型条例で、投票の実施を求める住民発議は、投票資格者の六分の一以上の署名が必要。議会と市長からの発議もできます。投票資格は市内に三ヵ月以上住所のある十八歳以上の人で、投票形式は二者択一、投票数が有資格者の二分の一に満たないときは不成立とする。と、などが定められています。

不成立の場合でも開票をと修正案提案

委員会の審議では、市民の多様な意見を反映させる選択肢の設定、投票の不成立、その際の開票の有無などで意見が交わされました。

六月二十五日の委員会では、採決に先立ち、日本共産党の菊池豪一委員が「投票が不成立の場合でも開票を実施する」との修正案を提案しました。が、反対多数で否決されました。条例案の原案については、全会一致で可決されました。

畠山和也「国会かけある記」

本気で止める

日本共産党衆議院議員

畠山 和也



議員宿舎に帰る途中、ある自民党議員に声をかけられました。話題は農協法修正案。ぼやきながら「農家から」理解を得られない「だよな」。審議は参議院に移り、本会議で紙智子参議院議員が代表質問をおこないました。TPP交渉にも前のめりの安倍政権に、日本の農林漁業と安心・安全の食料はやっぱり守れないと確信しました。さて衆議院は「戦争法案」をめぐる緊迫した毎日です。そもそも憲法違反の法案ですから何度も委員会の審議がストップしていますし、答弁を聞けば聞くほど反対世論が広がるのも当然です。国会前では九十三歳の瀬戸内寂聴さんが、札幌では十九歳の女性が上げた戦争反対の声に共感が広がりました。反対世論と運動の広がり、私たちに勇気を、与党議員にはプレッシャーを問うていく必要があります。この間まで本会議でも委員会でも聞こえた自民党席からのヤジが、最近では聞かなくなってきました。かと思えば、沖繩への侮辱や報道への圧力について、自民党議員の間で意見が交わされたことが大問題に。安倍首相は公明党代表には謝罪したようですが、謝る相手が違うのではないのでしょうか。だんだん追い込まれていく状況でも、採決へ押し進めようとする政府・与党の執念に負けるわけにはいきません。国会前で反対の声をあげる学生たちの言葉の一つは「本気で止める」です。そう、今こそ本気で、安倍政権の暴走を止めるために力を合わせよう！